

大阪・関西万博開催に向けた意見

御所属 関西広域連合委員 滋賀県知事 御名前 三日月 大造 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非するべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

(全体)

- ・ 関西各地域の実践の取組や資源を、それぞれの実際の現場で体感・体験できるよう、誘引する仕組みが構築されること。
- ・ 大阪・関西と世界の国々の様々な交流のもと、世界の抱える社会的な課題の解決 (=SDGsの目標に向けた取組の促進) の一助となり、持続可能な地域経済の発展につながることを。

(SDGsへの貢献)

- ・ 琵琶湖淀川水系の水環境保全の取組をはじめ、豊かな自然と調和する人々の暮らしや、「売り手よし、買い手よし、世間よし」という近江商人の「三方よし」の精神、「この子らを世の光に」として取り組んだ障害者福祉の父・糸賀一雄氏の実践など、こうした思想や歴史、文化、生活をSDGsに通じるものとして広く紹介し、未来社会のデザインを示す場となること。

(イノベーションの創出)

- ・ 大阪・関西万博が、関西地域(それぞれの府県市域)が有する世界に誇れる資産や資源、技術やポテンシャルなどを生かすことで、来るべき未来社会に向けた新しい価値を生み出す実験場、つまりイノベーション創出の実践の場となるとともに、これらを国内外に発信する機会となること。また、少子・高齢化や人口減少などに直面している日本が、それを負の課題として捉えることなく、イノベーションを生み出しながら、テクノロジーの発展を促し、新たな市場が形成されること。

(観光資源の発信と誘い)

- ・ 和食を代表する関西の食文化、歴史や自然など、関西が有する豊富な観光資源を活用した広域周遊による交流人口が増加すること。
- ・ 関西地域の観光資源の中でも未だ世界的には知られていない観光資源の発信の絶好の機会と捉え、海外からの観光客の各地域へのいざないにつながることを。

(日本独自のライフスタイルの発信)

- ・ 世界一の長寿を生み出した社会・医療システムの発信はもとより、日本独特の自然や環境と調和した人々の暮らしの豊かさや「癒し」を世界に発信すること。さらに、国内に向けてもライフスタイルの再認識・気づきを促す機会となること。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

(イノベーションの創出)

- ・SDGsの達成につながる産業の振興など世界の社会的課題解決に貢献するイノベーションの創出に向けた取組。(例：大企業だけでなく、中小企業のSDGsの取り組みを発表する場)
- ・イノベーションが絶え間なく生み出される環境(エコシステム)の整備。(例：ドローンなどの実証実験の場を積極的に提供)
- ・大手企業と中小企業(ベンチャー含む)、異業種間だけでなく、都市部と地方間の連携により生み出される新たな取組。

(食文化の発信)

- ・世界トップレベルの健康長寿を支える日本の食材(農畜水産物)や食文化。

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

(交通アクセスの充実)

- ・本会場と関西各地域への交通アクセスが充実すること。(新しいインフラ整備だけではなく、既存の交通ネットワーク(鉄道やバス等)を活用したアクセスの充実を図ること。)
- ・共通周遊パスなど海外の観光客が関西の各地域へ周遊を促進する仕掛けづくり。

(会場運営)

- ・会場内の売場でのプラスチック製容器包装の代替品を使用すること。
- ・会場内レストラン等での食品ロス削減の徹底を図ること。
- ・再生可能エネルギーや水素エネルギーによる電力供給を図ること。
- ・ミストシャワーやクールスポットなどの整備、携帯電話やスマートフォンでの事前予約システム整備による待機列の緩和などの予防策が実施されること。
- ・パビリオンへの入場など、待ち時間をなくす対策ができることが望ましいが、並んでいる行列が楽しめる空間となるような工夫が施されること。
- ・災害や事故など、安全・安心に最大の配慮を行うとともに、万全な体制や措置が実施されること。
- ・関西を拠点として活動するクリエイターを活用すること。

4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。

(地元資材の調達)

- ・会場整備をはじめ、建設投資や設備投資、物品等の購入などにおいては、関西の地元企業等から調達されるように配慮されること。